

名称 EMEP (Cooperative Programme for the Monitoring and Evaluation of  
Long Range Air Pollutants in Europe)

日本語名 欧州長距離大気汚染物質監視・評価計画

親機関 UN-ECE-UNEP-WMO

住所 UN-ECE, Palais des Nations, CH-1211 Geneva 10

国名 SWITZERLAND

電話 41-22-734-6011

ファックス 41-22-734-9825

---

1. タイプ：国際モニタリング計画

2. 地理的範囲：欧州

3. 目的

EMEPはUN-ECE, WMO, UNEPにより1977年に設立された。1983年にはECEの環境保全ネットワークの援助下で、長距離越境大気汚染条約のもとでのプロジェクトとなった。これは2つの地域ネットワークの一つであり、他は北米にある。そこでは、降雨モニタリング地点のより密なネットワークが、とくにSO<sub>2</sub>とNO<sub>x</sub>排出量と輸送を評価するために設立されている。

4. データ管理

EMEPは欧州の25カ国の106地点の地上モニタリング地点より降雨化学データを収集している。データは毎日収集され、汚染物質の輸送パターンを確立するために、分析される。これらのデータは分析され、ノルウェーにあるEMEPのCCC (Chemical Coordinating Center) によって結果が公表される。酸性化合物の長距離輸送と沈積についてモデル計算を開発するために、EMEPは2つの気候総合化センター (Meteorological Synthesizing Center MSC) を1970年代に設立した。一つはオスロ (MSC-West)、もう一つはモスクワ (MSC-East) である。

5. 協力関係

1983年の長距離越境大気汚染条約の一部として、EMEPは直接UN-ECEのIMのパイロット計画にリンクしている (IMPとその国際協力計画ICP)。さらに106観測地点の30以上の地点がWMOのBAPMoNに参加している。CECの合同研究センター (JRC, Joint Research Center) はこの計画を実施するために参加している。

6. 参考資料

HEM, 1990: A Survey of Environmental Monitoring and Information Management Programmes of International Organization.